

## 令和5年度 一級建築士 設計製図試験 合格発表 総合資格学院が合格実績 No.1 を達成！

建設・不動産関連の資格取得スクール「総合資格学院」を運営する株式会社総合資格（本社：東京都新宿区、代表取締役：岸 和子）は、12月25日（月）に公益財団法人 建築技術教育普及センターより発表された「令和5年度 一級建築士設計製図試験」の結果について分析いたしましたので、ご報告いたします。

### ▼令和5年度 1級建築士設計製図試験 合格発表

[https://www.shikaku.co.jp/course/1k/info/seizu-eligibility/?utm\\_campaign=press](https://www.shikaku.co.jp/course/1k/info/seizu-eligibility/?utm_campaign=press)

私の選択は  
間違っていなかった

選んだのは、合格者の50%以上が  
進んだ王道ルートでした。



1級建築士  
合格実績

No.1

平成26～令和5年度 1級建築士設計製図試験

全国 10年間  
合格者占有率

全国合格者合計 36,470名中 /  
当学院受講生 19,984名

54.8%

令和5年度 1級建築士設計製図試験

[学科+設計製図]  
全国ストレート  
合格者占有率

全国ストレート合格者 1,075名中 /  
当学院当年度受講生 557名

51.8%

### ■令和5年度 1級建築士 設計製図試験 合格発表

受験者数 10,238人（前年10,509人）

合格者数 3,401人（前年3,473人）

合格率 33.2%（前年33.0%）

採点結果の区分

○採点結果については、ランクⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの4段階区分とする。

○採点結果における「ランクⅠ」を合格とする。

ランクⅠ（33.2%）：「知識及び技能」（※）を有するもの

ランクⅡ（2.1%）：「知識及び技能」が不足しているもの

ランクⅢ（22.1%）：「知識及び技能」が著しく不足しているもの

ランクⅣ（42.6%）：設計条件及び要求図書に対する重大な不適合に該当するもの

※「知識及び技能」とは、一級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総括的な知識及び技能」をいう。

## 合格発表分析

### ◆『採点結果の区分』について

令和5年度の1級建築士 設計製図試験の合格率は33.2%（R04年度：33.0%）となりました。「ランクⅢ」が22.1%（R04年度：32.4%）、「ランクⅣ」が42.6%（R04年度：28.5%）となり、「ランクⅡ」は2.1%（R04年度：6.1%）と令和4年度同様に低い数値となりました。このように合格者以外のほとんどが「ランクⅢ：知識技能が著しく不足している」以下という明暗のはっきり分かれた採点結果からは、建築士に求める知識・技能の水準（合格基準）がより厳格なものとなってきていることが伺えます。特に今年は「北側高さ制限」が初出題されたことからランクⅣの割合が高くなったことが想定されます。

### ◆『受験者の答案の解答状況』について

令和5年度1級建築士 設計製図試験の『受験者の答案の解答状況』では、主にランクⅢ及びランクⅣの該当要因が以下のように記載されていました。

- ・設計条件に関する基礎的な不適合：「要求室・施設等の特記事項の不適合」等
- ・法令への重大な不適合：「道路高さ制限、北側高さ制限」、「延焼のおそれのある部分の位置（延焼ライン）」と防火設備の設置」等

また、試験元より公表された標準解答例について、

【設計条件のうち今回の試験において不十分な答案が多かった「道路高さ制限、北側高さ制限」、「延焼のおそれのある部分の位置（延焼ライン）」、「防火設備」に関する一つの考え方を示す】

との明示があることから、今後も法令遵守（すなわち法知識を十分に備えた建築士の輩出）は、一層、合格のために欠かせないポイントとなっていくことが予想されます。

### ◆『標準解答例』について

#### ・一般開架スペースについて

試験実施機関より公表された「標準解答例※」の構成から「図書館」という課題に対し「一般開架スペース計約600㎡以上（床面積の合計200㎡以上の部分は高天井とする。）」という大きな空間をどのように計画するかがポイントとなったことが読み取れます。加えて、道路高さ制限及び北側高さ制限等の法令を踏まえ、利用者の動線、閲覧・開架スペースを確保するといった設計者として考慮すべき基本原則をいかに計画できたかがポイントでした。また、一般開架スペースは、計画の要点記述の設問でも問われており、出題者の意図を正しく読み取り、図面・要点記述で正しく答えることが重要であったと考えられます。

※標準解答例①：2・3階に分散、標準解答例②：2階にまとめて計画

#### ・アプローチについて（主要な出入口）

試験実施機関より公表された「標準解答例※」の構成では「図書館」という課題に対し、西側の歩道付メイン道路からだけではなく、南道路側、北公園側からのアプローチも計画されていました。メイン道路からのアプローチだけではなく周辺環境を踏まえ、利用者の動線等を考慮した計画となっており、建築士としてあるべき実務レベルの力が求められたと言えます。

※標準解答例①：西、南、北アプローチ、標準解答例②：南、北アプローチ

法令及び設計条件の遵守については両解答例ともに十分意識されており、評価のポイントであったことが推察されます。

発表された「合格基準」から、採点のポイントと計画の要点の設問がほぼ同じ内容となっており、「建築計画」では、「多世代の交流促進及び効率的な施設管理について配慮した計画」、「ユニバーサルデザインや自然採光に配慮した計画」、「省エネルギー化の実現及びエネルギー自立度を高めた計画」、「構造計画」では「閉架書庫の構造的特徴に配慮した計画」、「地盤条件や経済性を踏まえた基礎構造の計画」、「設備計画」では「一般開架スペースの空調設備計画」、「屋上に設置する設備機器等の計画」が挙げられています。

## ◆『合格者の属性』について

・「年齢別」- 「23才以下」が過去最高の11.3%

・「平均年齢」- 「29.5才」遂に30才を下回る

「年齢別」において、「20代の合格者」の割合が、平成21年度の新試験以降最高の64.9%を記録しました。また、「23歳以下」の割合においても、令和4年度から2.0%増加し11.3%となり、令和2年度の建築士法改正後、最高の割合となりました。加えて、合格者の平均年齢は例年30才台で推移していましたが、今年度は30才を下回り、29.5才となりました。

建築士法改正により、大学、専門学校等において指定科目を収めて卒業すれば、実務要件なしに受験ができるようになりました。若いうちに受験をすることは、学習時間を確保しやすく、学生の方であれば、知識の習得や就職活動時のアピールポイントとなる等、数多くのメリットがあり、企業によっては、建築士試験に合格したうえでの入社を推奨している企業もあることから、新卒や在学中に建築士試験を受験する方が増加していると考えられます。

早期に試験対策を開始することは、学生や若手実務者であれば、比較的、学習時間が確保しやすいという点や、学んだ知識を早期から実務に活かせるなどの点で数多くのメリットがあります。

当学院としても早期の学習スタートを皆様におすすめております。

・「男女別」- 「女性」の割合が30.8%と過去最高

「合格者の主な属性」において、女性合格者の割合が過去最高だった令和4年度からさらに増加し、過去最高(30.8%)となりました。令和5年にも「女性活躍・男女共同参画の重点方針2023(女性版骨太の方針2023)」を国が公表するなど、女性の活躍を後押しする取り組みが進んでいます。国だけでなく、業界団体や企業単位でも継続的な取り組みが行われていることもあり、女性活躍の機会が広がってきていることが今回の結果からも読み取れます。

## ■令和6年度合格に向けて

総合資格学院では「高い分析力」に基づき、「課題ラインナップ／講座カリキュラム」を構成。建築計画はもとより、法令、構造、設備を含めた実務的かつ具体的な要求に対応するための「インプット指導」により、どのような課題にも対応するための「原理・原則の理解」を基本コンセプトとした指導を行っています。

加えて、次年度以降試される試験課題を想定し、

- ・精度・表現力の高い図面の2時間30分完成作図指導
- ・自由度の高い要求を意識し、様々な対応を繰り返し実施するエスキス指導
- ・課題要求をクリアするための細かく徹底したチェック・添削指導

により、設計製図試験に合格するための「アウトプット指導(エスキス/作図/記述)」を積極的に行っております。

令和6年度、確実な試験突破をめざす方は、ぜひ当学院の講座受講をご検討ください。

【令和6年度】設計製図完全合格対策コース <<価格改定対象講座:9万円 DOWN>>



令和6年度 受験

1級建築士 設計製図  
完全合格対策コース

受講生募集中

課題発表前に合格力を養成

学科試験免除の方を対象とし、3月から早期に製図試験対策を開始するコースです。

課題発表前の実力養成講座(124.5時間:計15回)で、合格レベルの作図力、計画力、時間管理能力を身につけ、課題発表後の課題対策講座(99時間:計11回)で当年度課題用途に特化した学習を行い万全の体制を整えます。

→<https://www.shikaku.co.jp/course/1k/list/seizu-perfect/>

## ■ 合格実績 No.1 スクール 総合資格学院

総合資格学院は、株式会社総合資格が運営するスクール事業ブランド。建設・不動産関連の資格取得スクールとして圧倒的な実績を誇っており、特に難関国家資格の建築士試験受験対策に強みを持っています。

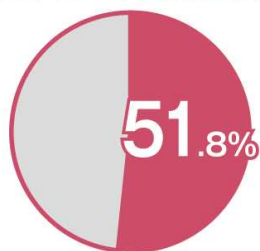
令和5年度1級建築士学科試験において、全国合格率16.2%に対して、当学院基準達成者 合格率は82.5%(注1)と5倍以上の実績を達成しています。

また、令和5年度1級建築士試験において、学科試験と設計製図試験を1年で突破した方の2人に1人以上(注2)を当学院当年度受講生が占め、「日本一」の合格実績を達成しています。

加えて、直近10年間の合格実績(注3)でもNo.1を達成しています。

令和5年度 1級建築士 学科+設計製図試験

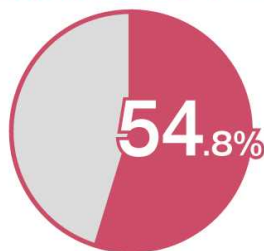
全国ストレート合格者占有率



全国ストレート合格者 1,075名中 / 当学院当年度受講生 557名

平成26~令和5年度 1級建築士 設計製図試験

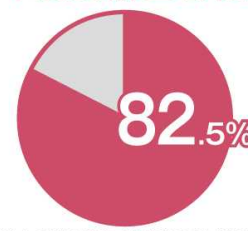
全国合格者占有率 10年間



全国合格者合計 36,470名中 / 当学院受講生 19,984名

令和5年度 1級建築士 学科試験

当学院基準達成  
当年度受講生合格率



8割出席・8割宿題提出・総合模試100点以上達成  
当年度受講生 315名中 / 合格者 260名

(注1) 令和5年度1級建築士 学科試験 当学院基準達成者 合格率82.5%

(8割出席・8割宿題提出・総合模試試験100点以上達成 当学院当年度受講生315名中 / 合格者260名)

(注2) 令和5年度1級建築士 設計製図試験 全国ストレート[学科+設計製図]合格者占有率51.8%

(全国ストレート合格者1,075名中 / 当学院当年度受講生557名)

(注3) 平成26~令和5年度1級建築士 設計製図試験 全国合格者占有率54.8%(全国合格者合計36,470名中 / 当学院受講生19,984名)

(注4) ストレート合格者とは、1級建築士学科試験に合格し、同年度の1級建築士設計製図試験に続けて合格した方です。

▼「総合資格学院の合格実績」詳細はこちらから

<https://www.shikaku.co.jp/about/achievements/>

### ～受講生一人ひとりの目線に立ち、きめ細かに対応！～

創業以来こだわりつづけてきた「人と人が向き合う講義—ライブ講義」だからこそ実現できる、受講生一人ひとりの目線に立った“真の個別指導”。さらに、自宅や職場での学習をサポートするために WEB コンテンツの配信も行っています。これからも資格取得をめざす方々のためにきめ細やかな指導を行ってまいります。



▼総合資格学院 公式ホームページ <https://www.shikaku.co.jp/>

▼総合資格学院 公式 Twitter [https://twitter.com/shikaku\\_sogo](https://twitter.com/shikaku_sogo)

▼総合資格学院 公式 Instagram [https://www.instagram.com/sogoshikaku\\_official](https://www.instagram.com/sogoshikaku_official)

▼総合資格学院 公式 LINE <https://lin.ee/bFS34qb>

▼総合資格学院 公式 Youtube チャンネル <https://www.youtube.com/channel/UCIjaeqHlizgXdSRrIU9XYyg>

### 【会社概要】

[所在地] 株式会社総合資格 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 22 階 [TEL] 03-3340-2810(代)

[所在地] 株式会社中部資格 愛知県名古屋市中区錦 1-2-22 中部資格ビル [TEL] 052-202-1795(代)

[代表者] 岸 和子 [設 立] 1987 年 1 月 [社員数] 558 名 (2023 年 4 月現在)

[資本金] 総合資格: 1 億円 [売上高] 194 億円 (2022 年 9 月期)

[事業内容] 各種国家資格受験講座の開催、各種セミナーの開催、教材の出版、法定講習の開催、人材事業

[URL] <https://www.shikaku.co.jp>